



# 進路だより



Vol.5 令和3年 10月 15日発行

大分大学教育学部附属特別支援学校 進路指導部

## 『保護者向け進路講演会』報告

大分県教育委員会主催の「令和3年度保護者向け進路講演会（大分会場）」が10月12日に開催されました。今回は講演会の内容を簡単にご紹介します。

### 「障がい者雇用の実際」 中小企業家同友会

サンワテック株式会社 代表取締役社長 岩尾 雅史 様より、障がい者雇用を始められたきっかけや、現場実習で特別支援学校から生徒を受け入れたときの感想、就職後の様子などについてお話を伺いました。

サンワテック株式会社は、平成27年から障がい者雇用をはじめ、令和3年度までに4名の採用実績があります。

道路等の法面工事を主とした土木作業を行っている会社で、ある程度の危険を伴う仕事をされています。そのため、当時の社長から障がい者雇用に向けての意見を求められたとき、はじめは絶対に無理だと反対をされたそうです。いざ、現場実習を受け入れてみると、特別支援学校の生徒が本当にまじめに働いてくれる姿を見て、障がい者雇用に対する意識が変わったとおっしゃっていました。

雇用をするにあたって、就業規則の見直し、仕事の簡素化、社員の勉強会(障がい理解)などを行い、働きやすい職場作りを進めています。入社後1年も経つと機械を使った作業や安全ベルトつけての高所作業なども十分にできるようになり、仕事の幅も広がっているそうです。

#### 【就職をするために育てておいてほしいこと】

- ・夢中になれることを見つける
  - …楽しみがあるときつい仕事も乗りきれ
- ・物を大切にする
  - …物の管理は事故にもつながる。
  - 自分で命を守る意識を持つ。
- ・自主性を持たせる(人のせいにならない)
  - …自分のことは自分で決める。
  - 自分で決めたことに責任を持つ。

『親や先生に言われて就職した』  
→長続きしない、離職の原因に！

(参考) 大分県中小企業家同友会

[障がい者の実習受入賛同企業マップ] →



### 「障がい者の就労を支える社会のサポート体制」 障害者就業・生活支援センター

障害者就業・生活支援センターは、「障害者の職業生活における自立を図るため、雇用、保健、福祉、教育等の関係機関との連携の下、障害者の身近な地域において、就業面及び生活面における一体的な支援を行い、障害者の雇用の促進及び安定を図る」ことを目的に、県内6箇所に設置されています。今回は、中部圏域(大分市、臼杵市、津久見市、由布市)を支援する大分プラザの主任就業支援担当者 衛藤 久弥 様より、進路選びや、学校在学中及び卒業後の支援体制などについてのご説明を伺いました。

説明を受けて、金銭トラブルの解決策についてなど、参加された保護者より、いくつかの質問がありました。特に金銭管理については、早い段階から家庭や学校で指導をしていくべきであることを共通認識しました。

#### 【企業の求める人材について】

- 1 あいさつができる
- 2 報告・相談ができる
- 3 職場の方の指示を素直に聞くことができる
- 4 時間を守れる  
(勤務時間、遅刻・欠勤をしない)
- 5 社会のルールを守れる など

#### 【就労の定着に向けて】\*離職につながる要因

- 1 生活のリズムの乱れ  
(身だしなみ、睡眠不足、食事の偏り、体調不良、無断欠勤)
- 2 交友関係(異性関係を含む)
- 3 金銭トラブル  
(携帯電話等での架空請求・友人との貸し借り)
- 4 職業人、社会人としてのマナー・ルールの理解 など

卒業後の支援体制(A型・B型・就労移行・生活介護)については、次号で詳しくご説明します。